

4月18日(木)、3年生対象の「全国学力・学習状況調査」、6月18日(火)、1、2年生を対象の「福岡県学力調査」が行われました。各調査の結果および今後の学習指導の手立てについてお知らせいたします。なお、学力調査の結果は、学力のすべてではなく、特定の一部であるとされています。

全国学力・学習状況調査 (3年生対象) 結果

① 学力調査平均正答率

本校の3年生の国語の平均正答率は、県平均、全国平均をやや上回っています。

本校の3年生の数学の平均正答率は、県平均、全国平均とほぼ同じです。

② 学習状況調査

『家庭学習の充実』

・平日の家庭学習時間が1時間以上の生徒の割合…肯定的な回答が県より低い。

→自学ノートやレポートでの予習・復習の取組を行っていますが、まだ家庭学習の習慣が身に付いていません。予習を促す授業での仕掛けづくりや、自学ノートなどを活用した復習ができるよう取り組んでいきます。

③ 各教科の分析と方策

【成果】

国語、数学ともに、記述式の問題に対する正答率が、県平均、全国平均をやや上回っていました。本校では、レポートやポスターによる単元の振り返りや、授業でのタブレットを用いた表現活動など、自分の意見を表現する活動に全教科を通して積極的に取り組んでおり、その成果のひとつと考えられます。

【課題と方策】

<国語>

【資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる】問題に課題がみられました。無解答よりも、誤答が多いことから、資料の意図を読み取り、それを正確に図示できなかった生徒が多いことがわかります。聞き手に分かりやすく伝えるために、図などを用いて視覚的に表現する場面を学習活動やレポートなどで設定し、表現力を育成していきます。

<数学>

【図形の移動の特徴を的確に捉える】問題に課題がみられました。図形の性質や関係を考察する場面では、移動前と移動後の二つの図形の関係に着目して、図形の移動の特徴を的確に捉えることが大切です。また、その理解したことを用いて、具体的に図形がどのように移動していくかを想像する力・書き起こす力が必要となります。国語と同様、学習活動において、視覚的に表現したり、説明したりする場面を設定し、想像力を育成していきます。

県学力調査 (1年生、2年生対象) 結果

【平均正答率】

2年生は国語、数学ともに、県平均とほぼ同じです。

1年生は国語、数学ともに、県平均をやや上回っています。

今後の学力向上の方策について（全教科を通して）

これまで学力向上の方策として、以下の3点について取り組んできました。

- ① 生徒間で互いの理解を高めるために、各教科における教え合い活動の実施
- ② 情報を関連付けて思考を促すために、複数の情報（文章、表、図、グラフなど）を目的に応じて整理する場の設定
- ③ 基礎基本の定着のために、反復学習の実施

これらの方策を通して、今年度の3年生（全国学力学習状況調査）の総合点数は全国平均を上回り、2年生（県学力調査）は県平均以上の結果となりました。今後は、上記の3点の取組を継続しながら、改善を行っていきます。また、更なる学力向上を目指し、次の3点について授業改善に取り組み、基礎学力の定着と課題解決学習を通して主体的に学習に取り組む生徒を育成していきます。

- ① 基礎学力を定着させるために、自学ノート等を活用した日々の復習の実施
- ② 課題を解決するために、他者と協働して学び合う学習の場面の設定
- ③ 単元を通して『主体的・対話的で深い学び』につながる課題解決型学習を行い、生徒がも
のごとを自分事としてとらえ、より深く思考する場面の設定